

様式第 4 号（第 7 条関係）

パブリックコメント募集案件概要書

【案件名：第 4 次つくば市生涯学習推進基本計画（案）】

つくば市教育局生涯学習推進課

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

生涯学習関連事業を体系的かつ効果的に推進するため、令和 3 年度に第 3 次つくば市生涯学習推進基本計画を策定し推進してきたが、計画の最終年度を迎えるにあたり、これまでの取組を検証し、社会情勢や市民要望の変化に対応した生涯学習推進に向けた新たな計画を策定する。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

茨城県内 44 市町村のうち、13 の自治体（土浦市・日立市等）で策定されているほか、茨城県でも策定されている。その他、全国の市区町村で策定されている。

○ 未来構想における根拠又は位置付け

つくば市未来構想

Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち

○ 関係法令、条例等

つくば市教育大綱

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果（算出できるものはコストを含む。）

本計画の実施により、自己実現を図る生涯学習に取り組むことができる環境をこれまで以上に広げることができ、さらに様々なつながりをもとに生涯学習の成果をいかして地域や社会の課題に挑戦することで、地域、そしてつくば市をさらによりよいものとするのが期待できる。



()

【概要版】

8 (2026)

〔対象期間〕

令和 8 年度 (2026 年度) から
令和 12 年度 (2030 年度) まで

これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs

計画策定の趣旨

計画策定の目的

- 本市では、「つながる 広がる つくばの生涯学習」を基本理念に掲げた「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」（以下、「第3次計画」。）を令和3年（2021年）3月に策定し、生涯学習に関する施策を推進してきました。
- この度、第3次計画が最終年度を迎えることから、これまでの取組を検証するとともに、市民ニーズや昨今の社会情勢の変化に対応した新たな「第4次つくば市生涯学習推進基本計画」（以下、「第4次計画」。）を策定することとしました。

計画の位置づけ

- 本市の最上位計画である「つくば市未来構想」、「戦略プラン」、教育、学術及び文化の振興に関する根本的な方針である「つくば市教育大綱」（以下、「教育大綱」。）に基づき、生涯学習に関する施策を総合的に推進するための基本計画です。
- 策定にあたり、国・県の生涯学習に関する計画や方針等を踏まえるとともに、本市の生涯学習に関連する各種計画等との整合を図ります。

計画期間

- 計画期間は令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）までの5年間とします。

計画の基本的な考え方

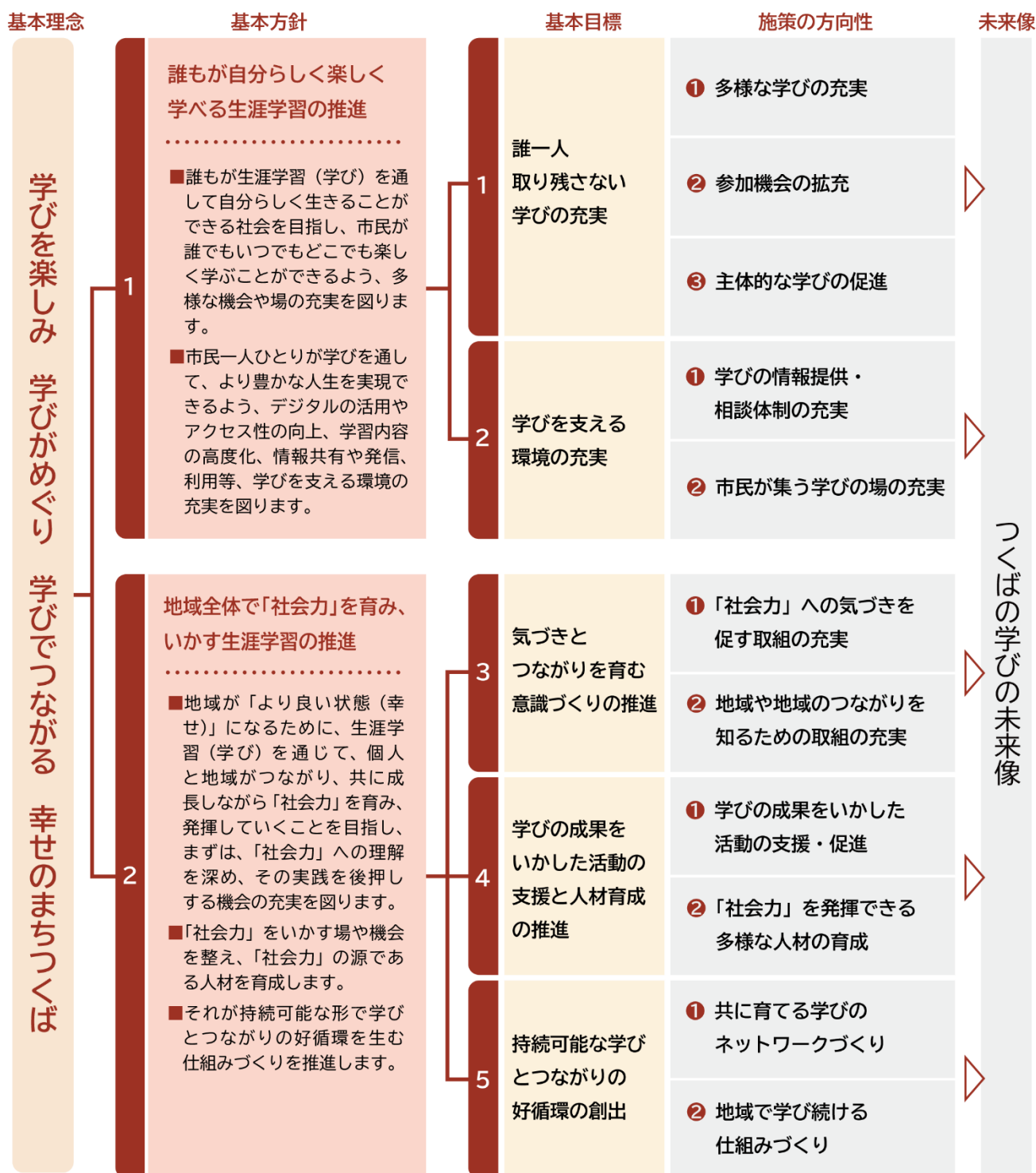
基本理念

- 第4次計画では、本市の未来構想の理念「つながりを力に未来をつくる」と、教育大綱の最上位目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を基盤に、市民一人ひとりの幸せと地域の好循環を生み出す持続可能なまちをめざし、多様な学びの機会の充実と「社会力」の育成・活用を進めることを目的として、基本理念を次のとおり設定します。

学びを楽しみ 学びがめぐり 学びでつながる
幸せのまちつくば

計画の基本的な考え方

計画の体系



施策の展開

■基本方針1と2に対応する5つの基本目標を定めます。さらに基本目標ごとに「施策の方向性」とこれに紐づく「主な取組」を位置づけています。

※**主な取組について**：（新）マークがついている取組は、第4次計画から新たに位置づけた取組となります。

基本方針1

誰もが自分らしく楽しく学べる生涯学習の推進

基本目標1 誰一人取り残さない学びの充実

誰もが学びに出会い、自分らしく学び続けられるよう、参加のしやすさの確保と多様な学びの提供を進めます。

施策の方向性	主な取組
①多様な学びの充実	障害者や支援者を対象とした講座やイベント（障害者スポーツ講座、チャレンジアートフェスティバル、おひさまサンサン生き生きまつり）の開催、男女共同参画・ダイバーシティ推進セミナー事業、国際交流協会の支援、（新）生涯学習スタートアップ事業
②参加機会の拡充	地域交流センター等の夜間・休日における学習機会の提供、（新）乳児学級・（新）幼児学級・家庭教育学級の開催、オンラインによる講座開催
③主体的な学びの促進	地域交流センター等での学級・講座の充実、スポーツ教室の充実、読書推進事業、つくば市域における図書館の連携、（新）生涯学習スタートアップ事業

基本目標2 学びを支える環境の充実

一人ひとりに合った学びにアクセスでき、あらゆる世代の多様な人々が集い学べる環境を整えます。

施策の方向性	主な取組
①学びの情報提供・相談体制の充実	市民活動相談業務、SNSを活用した活動団体の広報、外国人向けイベント情報の発信、生涯学習指導者情報の提供、市職員向けの広報セミナーの実施
②市民が集う学びの場の充実	図書館利便性向上事業、市民交流施設利便性向上事業、学校施設開放事業、（新）若者のための居場所の検討と創出、（新）読書環境の充実と集いの場の創出、（新）つくば科学フェスティバル、つくばちびっ子博士、チャレンジアートフェスティバル、おひさまサンサン生き生きまつり



基本方針2 地域全体で「社会力」を育み、いかす生涯学習の推進

基本目標3 気づきとつながりを育む意識づくりの推進

「社会力」への気づきを促し、ファーストステップを踏みだす市民の意識醸成を図ります。

施策の方向性	主な取組
①「社会力」への気づきを促す取組の充実	つくば人間学講座、「社会力」を持った人材の育成講座、(新) 青少年体験学習事業
②地域や地域のつながりを知るための取組の充実	多文化共生推進事業、文化財展示講座事業、筑波山地域ジオパーク体験学習・講座、(新) 自然環境教育事業、(新) ゼロカーボン教育・啓発事業、出前講座事業、(新) 青少年体験学習事業、つくばちびっ子博士、(新) 科学出前レクチャー、(新) 科学フェスティバル

基本目標4 学びの成果をいかした活動の支援と人材育成の推進

学びと実践をつなぐ仕組みを整え、活動する市民・団体の支援と人材育成に努めます。

施策の方向性	主な取組
①学びの成果をいかした活動の支援・促進	高齢者生きがい活動支援事業、文化団体等育成支援事業、(新) 青少年健全育成活動の支援、(新) つくば市民文化祭の開催、市民活動団体支援事業
②「社会力」を発揮できる多様な人材の育成	生涯学習指導者情報提供事業、文化財サポーターの育成、地区リーダー勉強会の開催、市民活動支援事業、(新) 青少年体験学習事業

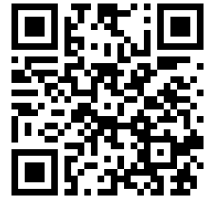
基本目標5 持続可能な学びとつながりの好循環の創出

学びの拠点とネットワークを活用し、市民の学びとつながりが発展・循環する仕組みづくりを進めます。

施策の方向性	主な取組
①共に育てる学びのネットワークづくり	地域まちづくり支援事業、(新) つくば SDGs パートナース事業、市民活動支援事業、(新) コミュニティ・スクール運営の支援、地域交流センター等講座・学級の充実、(新) 大学生・地域ボランティアによる学習支援活動
②地域で学び続ける仕組みづくり	(新) コミュニティ・スクール運営の支援、(新) 周辺市街地活性化協議会の運営支援、つくばちびっ子博士、(新) 科学出前レクチャー、(新) 科学フェスティバル

つくばの学びの未来像 -5人の「未来の物語」-

- 本計画では「基本理念」である「学びを楽しむ 学びがめぐり 学びでつながる幸せのまちつくば」を実現するために「基本方針」、「基本目標」を定め、「基本目標」を施策に落とし込んだ「施策の方向性」を位置づけています。「施策の方向性」には「主な取組」を位置づけており、これにより市民の生涯学習活動を支援していきます。
- 本市の5年後の未来、「幸せのまちつくば」に向けて、「主な取組」が市民に届き、それが市民の活動へとつながっていく様子と、そのイメージを「5人の未来の物語」に乗せて示します。
- 「青少年」、「働く世代」、「子育て世代」、「障害者」、「高齢者」といった、様々なライフコース、ライフステージにある5人が本市で学んでいる姿を物語として計画書に示しました。本概要版では、その物語の【導入版】を載せています。



5人の未来の物語【完全版】は計画書本編（37p-41p）へ→

青少年



高野さん(13歳)

居住歴13年。生まれも育ちもつくば市。現在は市内の中学校に通う中学1年生。両親もつくば市生まれつくば市育ち

小学4年生の夏休み前のある日、児童クラブのスタッフのお姉さんに誘われ、自由研究のヒントを求めて参加した科学教室。

そこには、思いがけない“身近な科学者”との出会いや、地域の人と一緒に作り上げた特別な体験が待っていました。遊びと学びが交差する、私の学びの物語です。



仕事で任されたホームページ更新。そのために受講した一つの講座が、地域との新たなつながりと思わぬ世界を広げてくれました。

講座で得た知識は、仕事だけでなく地域活動や人との出会いにもつながり、気づけば図書館や公園へ足を運ぶ週末に——。きっかけは、あの日見かけた一枚のポスターでした。

働く世代



横田さん(27歳)

居住歴3年。大学院卒業後、就職を機につくば市に。建築士として市内の企業に勤める。現在は一人暮らし



子育て世代



小林さん(46歳)

居住歴 36 年。大学時代・新社会人時代は関西に居住。結婚を機に地元へ。夫婦2人＋子3人(幼児1、小学生2)の5人暮らし



子どもとの時間を大切にするため選んだ在宅ワーク。でも、次第に感じ始めたのは“人とのつながり”の希薄さでした。

そんなある日、保育参観後に見かけた一枚の講座案内。それが、地域との関わりを深め、自分自身の新たな役割を見つけるきっかけに。家族も含めて一歩先に踏み出した、その先にあった様々な人との出会いのストーリーです。



子どもの進学を機につくば市へ転居。新しい職場での戸惑いの中、同僚の声かけで学びの扉が開きました。

精神障害を抱える中で出会った生涯学習講座。オンライン参加から始まり、少しずつ広がっていった世界——。講座＝「学び」を重ねるごとに増えてきたものとは。



障害者



田中さん(52歳)

居住歴2年。市内企業勤務。夫婦2人＋息子1人(高校3年生)の3人暮らし

高齢者



中村さん(70歳)

居住歴 35 年。転勤を期につくば市に。現役時代は研究職員として市内企業に勤務。退職後は夫婦2人＋犬1匹暮らし

自身の 55 歳の誕生日の娘の一言と、会社の先輩が定年後にやりがいを見失っている姿を知ったことをきっかけに「セカンドライフを考える講座」を見つけました。

地域とのつながりも殆どなく、退職後の人生に不安を抱えていた私が、長年の経験を地域にいかして、自らが教える立場へ——。私の人生を豊かにしてくれた多くのこととは。

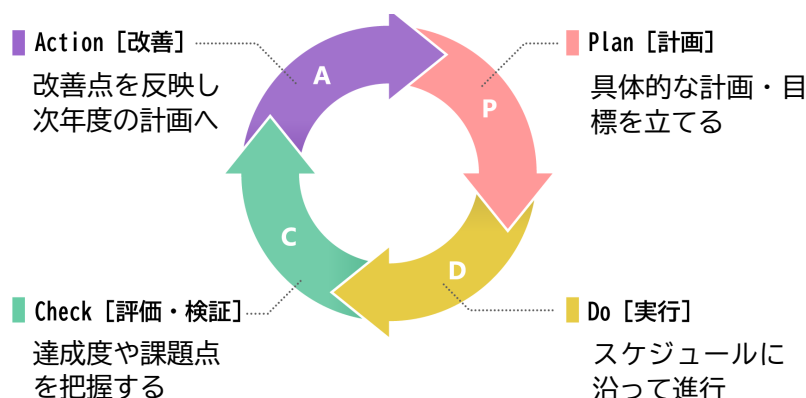


計画の推進

計画の進行管理と推進体制

(1) 計画の進行管理

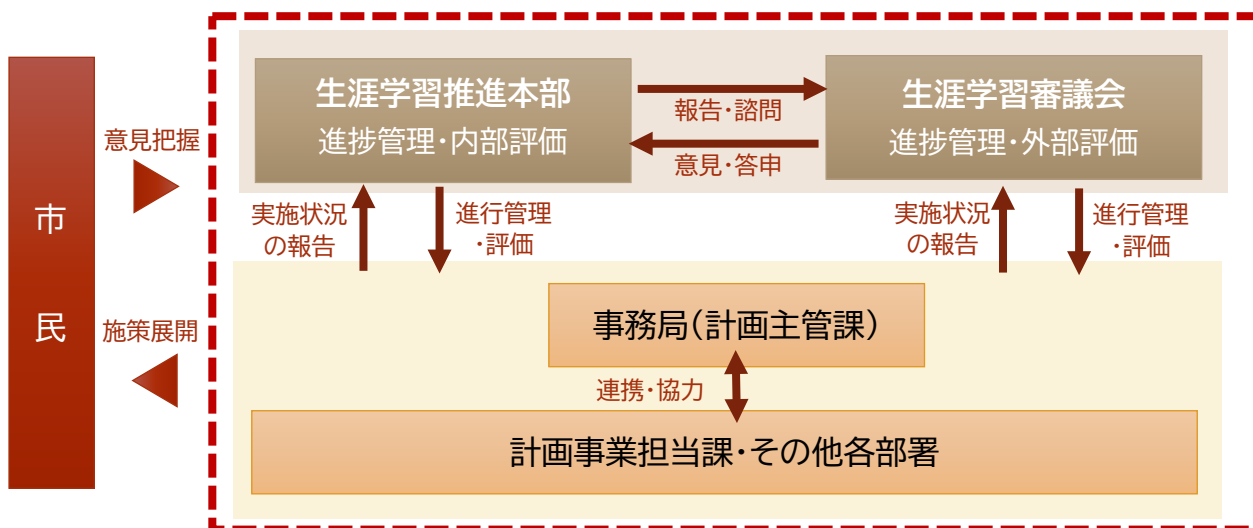
本計画では、第4次計画の基本理念を実現するために、基本目標ごとに位置づけている「施策の方向性」を毎年度評価・検証し、評価の結果をもとに、PDCA（Plan：計画、Do：実行、Check：評価・検証、Action：改善）サイクルによる進行管理を進めます。



(2) 計画の推進体制

本計画の推進体制は、各部長等で構成される「生涯学習推進本部」及び市議会議員、各種団体等の代表者、学識経験者、市民委員から構成される「生涯学習審議会」、そして両会議に実施状況の報告を行う事務局と関係各課で構成するものとします。

また、計画全般の進行管理や評価は、事務局及び関係各課からの実施状況の報告に基づき「生涯学習推進本部」において実施し、「生涯学習審議会」に報告・諮問します。「生涯学習審議会」は諮問を受けて審議を行い、今後の取組の改善にいかしていきます。



第4次つくば市生涯学習推進基本計画【概要版】

発行：つくば市教育局生涯学習推進課
電話：029-883-1111（代表）

住所：〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
発行年月：令和8年（2026年） 月